

公開用体裁ルール（正典） v1.1

最終更新：2025-08-12 / 適用範囲：外部配信用 為替（日次）相場レポート

目的

公開用体裁から逸脱せず、真実のみで相場レポートを作成・公開するための必須ルールを定義します。本文は“正典”であり、執筆・生成・校閲・公開すべてに適用します。

基本原則（変更禁止事項）

- ・公開用体裁のみを出力する（内部用の注釈・工程メモを含めない）。
- ・意味・構成・改行・語順・表現の“勝手な”変更を禁止（言い換え・語句の追加削除・分割統合を行わない）。
- ・数値・名称・時刻は一次/公的または長期継続プロバイダの真実に準拠。
- ・本文の最後は必ず“タイトル回収（言い切り1文）”で締める。

文書構成（固定）

- 1) タイトル
- 2) 本日のポイント（2行・ちょうど2件）
- 3) 本文3段落：
 - 市況サマリー（米3指数 / 金利方向 / WTI / 天然ガス / 主要貴金属）
 - 為替テクニカル（主役ペア）：1H=20SMA / 4H=BB±2 + 20SMA / D=200SMA/EMA + 20SMA（必要に応じRSI14）
 - 本日の指標（JST・改行なし1行・「...が発表予定となっている。」で締める）
- 4) 最後にタイトル回収（言い切り1文）

改行・空白行ルール

- ・「本日のポイント」は見出し直前に空白行1行のみ、直後は空白行を入れない（0行）。
- ・「本日のポイント」と次の行（中タイトルなど）を同一行にしない（必ず別行）。
- ・空白行が2行以上連続しない（必ず1行に縮約）。
- ・「本日の指標」は改行なしの1行で列挙する。

表記統一ルール

- ・時刻はゼロ埋めしない（例：8:50、9:00）。
- ・英字・数字はすべて半角。％は半角。
- ・数値は3桁区切り（例：3,000）。ただし西暦には区切りを入れない。
- ・カッコは既存のものに限り全角（（〇〇））へ統一。新規のカッコ追加は禁止。
- ・語句置換（完全一致）：「ぶれ」「振れ」、「とくに」「特に」、「ふたたび」「再び」、「ゆくえ」「行方」。
- ・「ほど 約」の置換は「数値 + ％ + ほど + 動詞」の場合のみ。変換後の「約」は数値の直前（例：2.2%ほど上昇 約2.2%上昇）。「ほど」が無いのに「約」を挿入する行為は禁止。

通貨ペア表記（完全一致）

以下の9通貨ペアに完全一致で統一し、その他の表記は変更しない：

ドル円 / ユーロドル / ユーロ円 / ポンドドル / ポンド円 / 金 / 米ドル / ビットコイン / 米ドル / 豪ドル米ドル / NZドル米ドル

「名前：肩書き」形式（変更禁止）

報道用の「名前：肩書き」表記（例：ベイリー：BOE総裁の発言）は、変更・カッコ化・語順変更・挿入・省略など一切禁止。

テクニカル記述の句型（固定語彙の例）

時間足20MA上位 / 下位へ移行、4時間足ボリンジャーバンド±2 からの反転 / バンドウォーク、20MA直下 / 直上、日足200SMA/EMA直下 / 直上、上値抵抗帯 / 下値支持帯、レジスト / サポート、方向感を模索、上値が重い / 下値余地 等。

曖昧さ回避：事実に基づかない断定は避け、「～付近」「～直下」「～を試す動き」等の既存語感に従う。

文字数の最低ライン（初期値）

ブロック	最低文字数（全角目安）	備考
タイトル	22～60	語感固定（…を注視か / 要注目か など）
段落 市況サマリー	220	米3指数 / 金利方向 / WTI・天然ガス / 主要貴金属
段落 為替テクニカル	180	1H/4H/Dの所見（固定句型を使用）
段落 本日の指標	120	JSTで改行なし1行。イベント数は8件以上を目安
タイトル回収	1文（必須）	言い切りで締める

イベント列挙のルール（本文 ）

- ・JSTで統一し、「時刻に 国・指標名」をカンマ区切りで列挙する。
- ・休場・入札・要人発言も扱う（出典は公式）。
- ・最後は必ず「...が発表予定となっている。」で締める。

OK/NG例（表記の具体例）

対象	OK例	NG例
時刻	8:50 / 9:00	08:50 / 09:00
%表示	1.2%上昇	1.2 % 上昇（全角混在）
3桁区切り	3,000	3000（西暦以外で未区切り）
ほど 約	約2.2%上昇（ 「2.2%ほど上昇」を変換）	2.2%上昇 約2.2%上昇（“ほど”が無いので挿入禁止）
通貨ペア	ポンド円 / 金 / 米ドル	GBPJPY / XAUUSD（内部表記のまま出力）

公開前チェックリスト（自動検証 + 目視）

- 本日のポイント = 2件ちょうど / 直前=空行1・直後=空行0 / 見出しと次行は別行。
- 本文段落=3（市況 / 為替テク / 指標1行）。
- タイトル回収が最後に存在（言い切り1文）。
- 時刻（ゼロ埋めなし）、英数半角、%半角、3桁区切り（西暦除外）、既存カッコは全角。

語句置換の適用（ぶれ 振れ など）、約の条件置換が誤爆していない。

通貨ペア表記 = 指定9種のいずれかで完全一致。

要人名の「名前：肩書き」形式が改変されていない。

主要数値の出所ログ（公式/長期プロバイダ）が保存されている。

作成日・履歴の付記（メタ情報の必須要件）

各レポートには、以下の“作成メタ”を記録・保存する。公開ページの末尾またはCMSの管理画面で参照可能とする。

項目	内容	備考
作成日（JST）	YYYY年M月D日 hh:mm 作成	自動付与（例：2025年8月12日 09:15 作成）
記事番号 / ファイル名	mYYYYMMDDnn	1日複数本に対応（01,02...）
主役ペア	USDJPY/EURJPY/...	生成時の選択値
選択イベント（ポイント）	2件（JST時刻 / 国・指標名）	レポート冒頭の“本日のポイント”と一致
選択イベント（列挙）	本文 に掲載した全件	順序含めて保存
データ取得元	FX / 指数 / 金利 / 商品 / 指標のソース名	例：BLS, CME, U.S. Treasury, OANDA 等
生成設定スナップショット	設定ファイルのハッシュ / バージョン	品質の追跡性を担保
入力データハッシュ	主要JSONのSHA-256	将来の検証に使用

メタ情報の例（JSON）

```
{
  "created_jst": "2025-08-12T09:15:00+09:00",
  "article_id": "m2025081201",
  "pair": "USDJPY",
  "points": [
    {"time_jst": "21:30", "name": "米・消費者物価指数（CPI）"},
    {"time_jst": "18:00", "name": "独・ZEW景況感指数"}
  ],
  "calendar_listed": [
    {"time_jst": "8:50", "name": "日・機械受注"}, {"time_jst": "21:30", "name": "米・CPI"} ...
  ],
  "sources": {"fx": "OANDA v20", "cme_settlement": true, "bls": true},
  "config_version": "app.config.yaml#7df3...",
  "input_hash": "sha256:..."
}
```

改定運用（否定例の漸進追加）

運用の中で判明した不適切事例（否定例 / NG例）は、本書に逐次追記し、“正典”を更新する。版番号を上げ、冒頭に変更点を明示する。

付録A：テンプレ雛形（公開用体裁）

タイトル：

本日のポイント
 国・

 国・

（段落）

（段落）

(段落)

本日の指標は、 _____、 _____、 _____、 _____、 _____、 _____、
_____、 _____が発表予定となっている。

_____ (タイ
トル回収・言い切り)